

人間都市計画特論

フィールドからみた建築史研究

第4回：ブータン王国の建築遺構調査 1

ブータン王国の概要

- 国土のほとんどが森林で覆われた
 - 広葉樹林
 - モンスーン：6～8月
- 農業国：狭小な谷合や山の斜面に耕地
 - 耕地のほとんどは、インド国境沿いを除くと海拔2000m以上の高地
- ほとんどが自作農
- 人口：60～140万（1993年）
- 首都：ティンプー（人口3万）
- 国教：仏教（チベットより伝来したチベット仏教の古い形式）
- 言語：ゾンカ



ブータン王国の歴史

- 7世紀初頭、中国『隋書』の『附国伝』に「附国南有薄緑夷、風俗亦同」と書かれ、「薄緑」という地名を西ブータンのパロに同定。
- 西欧の歴史観では、ブータンの歴史は17世紀から開始される
 - チベットからの亡命僧侶、ナワン・ナムギャルにより国家統一
 - 国家元首：シャブドゥン（宗教・世俗権力を包括）
 - 宗教界の長：ジェ・ケンポ
 - 世俗界の長：デブ
- 18世紀よりイギリスと接触
- 1907年：ウゲン・ウォンチュックが英国より国王として承認される

参考文献

- ⑥ M. Aris, Bhutan: The Early History of a Himalayan Kingdom, New Delhi, 1980.
- ⑥ J. Claude White, Sikkim and Bhutan, New Delhi, 1992.
- ⑥ B.J. Hasrat, History of Bhutan, Education Department of Bhutan, 1980.
- ⑥ M. Aris, ed., Views of Medieval Bhutan: The Diary and Drawings of Samuel Davis, 1783, London & Washington, D.C., 1982.
- ⑥ M. Fujioka et.al., The Royal Buildings in Nepal, Nippon Institute of Technology, 1981
- ⑥ K. Watanabe et.al., The Royal Buildings and Buddhist Monasteries of Nepal, Chuokoron Bijyutsu Shuppan, 1985.
- ⑥ Y. Gusheng, Tibet, translated. by H. Guangsen & Z. Huizhen, Singapore, 1990.
- ⑥ R. Khosla, Buddhist Monasteries in the Western Himalayas, Nepal, 1979

調査の目的

- ブータン王国の歴史建造物と伝統的技術の現状把握
- 将来の保存修復に関する援助の可能性を探る
- 調査時期の選定経緯
- 単独調査の限界と可能性
 - 実態の把握：記録の方法
 - 建築発展の仮説
 - 保存対象の選定基準
 - 大工技術の実態
- 事前準備の実際
- 調査器材の選定基準
- 調査ノートを取り方

